Chaldea Sex Rotation
カルデアSEXローテーション
R18
ADULT ONLY
・源頼光 / Lancer
・玄奘三蔵 / Caster
・アルトリア・ペンドラゴン / Lancer
&
・アルトリア・ペンドラゴン〔オルタ〕 / Lancer

・カルデアSEXローテーション

発行日：2017年12月31日（C93）
発行元：であすちーむ
発行者・著者名：うな丼
印刷：(有)スズトウシャドウ印刷　様

PixivID：1060786
Twitter：una_dondon

この本のインターネットなどへの無断転載、
複製、アップロード、18歳未満の閲覧を
固く禁じます。

時は2.0.XX年
女性サーヴァントが増えすぎたカルデアで
誰がマスターの夜伽の相手をするかで始まった争いにカルデアは憔悴しきっていた
突き立て！喰らえ！十三の牙！
釈提垣因・金剛杵!!

君たちの思いはよ～～～くわかった!!
今日は私の番ですっ…!!
そこで。争いをさけるために新たなルールが制定された
タラー
はぁ～…
マスターはあたしの弟子なのに～っ!!
それならこんなのはどうだい？

そう。当番制である！（今更）
当番表
源頼光
ちーん…

頼光ママの日
んっ…ん…ぷぁ…♥
ちゅっ
ちゅっ
ふぅっ♥
あぁっ!?マスター♥
こんなに積極的に母に甘えてくるなんて…♥
おちんちんも亀頭をなで上げる度に声が漏れて…
母で感じてくれてるのがわかります…♥
あぁっ…♥
こんなにご立派にしてしまって…♥

いけませんっ・・♥
いけませんよマスター
これ以上母を誑かすのは・・ご禁制です♥
それに・・・
こんな状態ではまた悪い虫に標的にされてしまいます・・
風紀を守っていただくために
ここで全部搾り取っておく必要がありそうですね♥
うあぁっ・・

んっ…♥
ぬりゅ
んっ…♥
ぬ
ぬりゅ
ぬりゅ
ぽぉぉあぁ～～…
ちゅるっ
ちゅ
ちゅ
フーッ
フーッ
じゅぞっ
フリフリ
ふふっ…♥
すぐに抜き抜き出来るように
下に水着を着てきて正解でした…♥
ニュプ
ニュプ
あぁ…胸でのご奉仕は
マスターの反応が直に伝わってきて
私までっ…感じてっ…あっ…♥
ズルッ…
んっ…マスターっ…!?
だんだんキスが
うまくなってます…♥
はむ
はぁぁあっ…
はむ
母もとろかされて…
このままではいけませんっ…♥
はむ
ギュウウッ
びくっ
あぁぁ
頼光っ…
そんなに締め付けたら
出ちゃうって…
フーッ
フーッ
ガクガク

ふふっ…♥
いいですよマスター♥
いつでも母が
受け止めますからね♥

今日まで母のために
沢山溜め込んだ孕み汁
思う存分吐き出して
下さいましね…♥

あっ…頼光っ…
でちゃっ…あっ

あらあら
我慢しちゃ
ダメですよっ？

あっ…
ちょっ…!!
ちょっと待っっ…!!

ほらっ
びゅっ…♥
びゅっ…♥

びゅっ…♥
びゅっ…♥

あぁもったいない
こんなにこぼれちゃって♥
大事な大事なマスターの子種汁…♥
一匹残さず飲み干して差し上げますねっ…♥
貴重な精液を無駄にするのは~…
んんっ~~♥
いへましぇんっ…♥
あぐっ
ふふっ固形物みたいに粘っこくてドロドロしたのがいっぱい…♥
いけません…いけませんよマスターこれはいっぱい出して薄めておく必要がありますっ…♥
御覚悟…してくださいましね…♥
ねっちょねっちょ

あぁ…♥
先程出したばかりだというのに…
もう大きくなってます…♥
たゆっ
元気な子をこの身で感じることが出来るのは母としてこの上ない悦びです…♥
頼光っ…ちょっと休ませて…
ちゅっ♥
いけませんよマスター♥
こんな状態の子をそのままにしておく程母は寛容ではありませんっ♥
今沢山搾り取って差し上げますからね…♥
あっ…そんなっ…
たゆっ
あはぁぁぁっ～～♥
むちゅ♥
むちゅ♥
むちゅ♥
マスターのが一気に私の一番子宮(おく)までぇっ…♥
ぬっちゅうぅ～

あぁ～～♥
とても落ち着きます♥
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ
粘膜同士が触れ合って
マスターを全て
包み込んでる感覚・・♥
擦りあげられる度
体がゾクゾクって
しちゃいますっ♥
今日までこうして
触れ合えなかった分
存分に母のことを全身で
感じ取って下さいね・・♪
マスターの大好きな
おっぱいもほらっ・・☆
マスターのことが可愛すぎて
母はもう・・我慢できませんっ♥
ああああああ
急につ・・動いちゃ

はぁ
このおちんちんっ…やっぱりご禁制ですっ♥
ふふふっ…マスター♥
れろ れろ れろ
れろ れろ れろ
はぁ
上と下同時にちゅ～しながら出し挿れするんですよ?
はぁ
あっ♥
あっ♥
んあぁっっ…♥ 一番奥にキスされるとっ…頭が…真っ白にぃ…♥
ほらっ いっちに いっちに♥
ぬちゅ
ずちゅ ずちゅ ずちゅ
頼光っ…俺だってっ…
あっ…マスター…!?
ムッチィイイ
いつまでも子供じゃないんだぞっ～～～!!!
むにゅ
ふあぁああぁぁ～～っっっ♥♥♥
キュン
ヌっちゅ
うううう

んはぁっ♥
あっ♥
あっあっ♥
そんなはげしくっ♥
母はうれしいですっマスター♥
キてるっ…♥キテますっ♥
母のっ♥奥までっっ♥
いつもは私が導いて差し上げるのに…いつの間にかこんなにご立派に♥
マスターの欲望の渦存分に打ち付けて下さいましっ…♥
頼光っ
もうっ…出そうっ
良いのですよっマスター♥
母の膣に一滴残らずっ…♥
あぁっイくぅっ♥私もイッてしまいますっ♥
イッ…♥

あっ…うぐっ…
出るっ出るっ…!!
ぐぐ…
頼光にっ全部出るっっ…!!
あっ…すごいっ…♥射精が長いですっ♥いっぱい出てますよっ♥
ふふふっ子にここまで愛されて母は幸せです♥
マスター…素敵ですっ♥
ゆっくりゆっくり出して〜♥
いーこいーこ♥
よく出来ましたね♥偉いですよ♥
さぁ御遠慮なく…♥マスターの愛情をもっともっと母に注いで下さいまし♥
待ってっ…うあぁぁっ

三蔵ちゃんの日

んっ♥んっ♥

三蔵ちゃんっ

んっんっ♥

部屋にくるなりっ そんないきなりがっついてっ…

くあぁっ

はぁ～♥ 大好きなマスターの久しぶりのおちんちん♥

ちょうどいい弾力と大きさで咥え心地最高だよぉ～っ♥

もうこれなしじゃ生きていけなくなっちゃうっ♥

んむぅ～～～♥♥

ああああぁっっ… それやばっ

三蔵ちゃんっ 吸い付き強すぎっ

はぁ…それなのに…

んぁっ♥

修行と称したマスターとのスキンシップがとれなくなっちゃうなんてぇ～…

三蔵ちゃんっ

もぉ！毎日の修行は欠かせないって言ったでしょ～？

なんで変な規則ができちゃったのよ～！

三蔵ちゃん… そっそんなの俺に言われてもっ…

息っ… 息がっっ…

あんたはあたしの弟子なのに～っ!!
こんなになったおちんちん師匠であるあたしが放って置けるわけないでしょ！
あぐっ
毎日きちんとできなかった分今日は容赦しないんだからねっ！
そっそんなっ…
ハァ ハァ
こうなったら咥え溜めしちゃおっとっ…♥
いっくわよ～♥
れろぉ
え～いっ♥
あ～～♥マスターのおちんちん美味しすぎてあたしまで我慢できなくなっちゃうぅっ♥
キュン
早く早く～濃いのいっぱい飲ませてよぉ～♥
さっ…三蔵ちゃんっ急に激しすぎるよっ…!!
そんなに熱をいれてっ…咥えなくてもおっっ…
あっあっ…待ってっ…ほんとにでちゃっあぁあぁあっ!!

出るぅぅぅ〜〜〜っっ
やった〜♥ マスターの今日の一番搾りでたぁー♥
喉に絡みつくこの感じ♥ これが病みつきになっちゃうのよね〜♥
はぁぁ〜〜〜♥ いいわ〜♥
濃厚ザーメン体に染み込んできちゃう♥
ぐぐぐぐ…
あ〜ん♥ こんなんじゃまだまだ全然足りないよぉっ♥
もっと…もっともっといっぱい飲ませて貰うんだからねっ♥
三蔵ちゃんっ…出たばっかりなのに吸い付いたらっ
ふふ もう出ないなんて嘘ついちゃってっ♥
そんなことないの知ってるんだからねー？
あっ…もっ…無理これ以上出ないってっ…
おちんちんストローから勝手に精液吸い上げちゃおっと♥
ずぢゅるるるるーーっ

あっ・出る
また出るぅうっ
ほらやっぱり♥
お師匠に嘘をつく
悪い弟子には～…
全部出しきるまで
許してあげないんだからっ♥

もぅ～!
いいとこだったのに～…
三蔵ちゃん
もういい
でしょ？

ストップ
ストップ～～!!

さっ・三蔵ちゃんっ・
っっっあぁあ…!!

あんたはあたしの弟子なんだから
お師匠には逆らわないの！♥

1時間後
はぁぁ～～♡
何回出じても
喉に絡みつくぐらい濃いぃ～♡
なんなのよ～
このおちんちんはっ・・♥
ごめんへ～♥
しゃふがに10はい超えたらあらひも
じぇんぶほみひれなはったよぉ♥
まっ・・
マスター・・!?
うっとり♥
はぁ～さいっこうによかったぁ～☆
あたしも満足できる量ごっくんできたしっ
今日はこのへんにしておいてあげよっかな～
なーんちゃって♪
また
また
つきゃっ

あっ待ってっ!!
ど・どうしちゃったのっ!?
三蔵ちゃん・・!
まだ三蔵ちゃんの
修行が終わってないよ?
あっ・・んあっ♥
あたしはっ・・
おっ・・お師匠様なんだから
大丈夫っ・・あっ♥
そっ・・
そんなにこすっちゃだめぇ♥
あっ・・あっ♥
らっ・・らめぇっ・・♥
さっきので興奮しすぎて
体が敏感になってる~♥
擦られただけなのに
イッちゃや・・♥
でも三蔵ちゃんの
こんなにぬるぬるだし・・・
お師匠様のためだったら
弟子として協力しないとねっ!
そっ・・
そんなことぉ~
あっあっ・・♥
待って待ってっ
三蔵ちゃん
いくよっ
ンくぅぅ~~♥

この体勢あたしが弱いの知ってて
わざと逃げられないようにされちゃってるっ♥
いっ・いきなりおくぅ～～～っっっ♥
三蔵ちゃんっ修行なんだからもっとしっかり気を保ってっ
おひひょ～ひゃまにしょっしょんなことといっへぇこんにゃのむりぃ～～♥
ほらっまた声色が変わったっ・・!!
ひょっ・ひょこぉ～～
三蔵ちゃんは後ろから突き上げるようにがっつり突かれるの大好きだもんねっ
らめっ♥らめっ♥反則ぅ～～♥
マスターのおちんちん修行の度にすごくなってるぅ～♥
もう完全にあたじの弱いとこ覚えちゃってるよぉ・・♥
あっ出るっ・出すよっ・・!!
あたしいっ♥お師匠なのに～～っ♥
こんなのっすぐイっちゃうっ♥
うあっ・とろまんがっ締め付けてきてっ
すっ・すごいよ三蔵ちゃんっ・もう無理っ出ちゃっ・うあぁっ
んっ♥んっ♥
だめぇ～～♥今出されたら溶けるっ溶けちゃう～～♥

三蔵ちゃんのっ
一番奥にっ・・・
ぐうっっ・・・
熱々濃厚ザーメン
直できたぁ～～～♥
うぅっ・・
はぁ・
はぁ・
は～♥
弟子であるあんたが
ここまで
成長してるなんて
思わなかったわ♥
さすがあたしが
見込んだだけは
あるわねっ♥
三蔵ちゃん
これで今日の修行は
終わりって事で・・・
えっ・・・？
何言ってるの？
へ？
このまま火をつけられて
終わるわけないじゃない～！
今日はまだまだだっ・・!!
時間まで
たっぷり相手して
もらうんだからっ！
えええっ～～

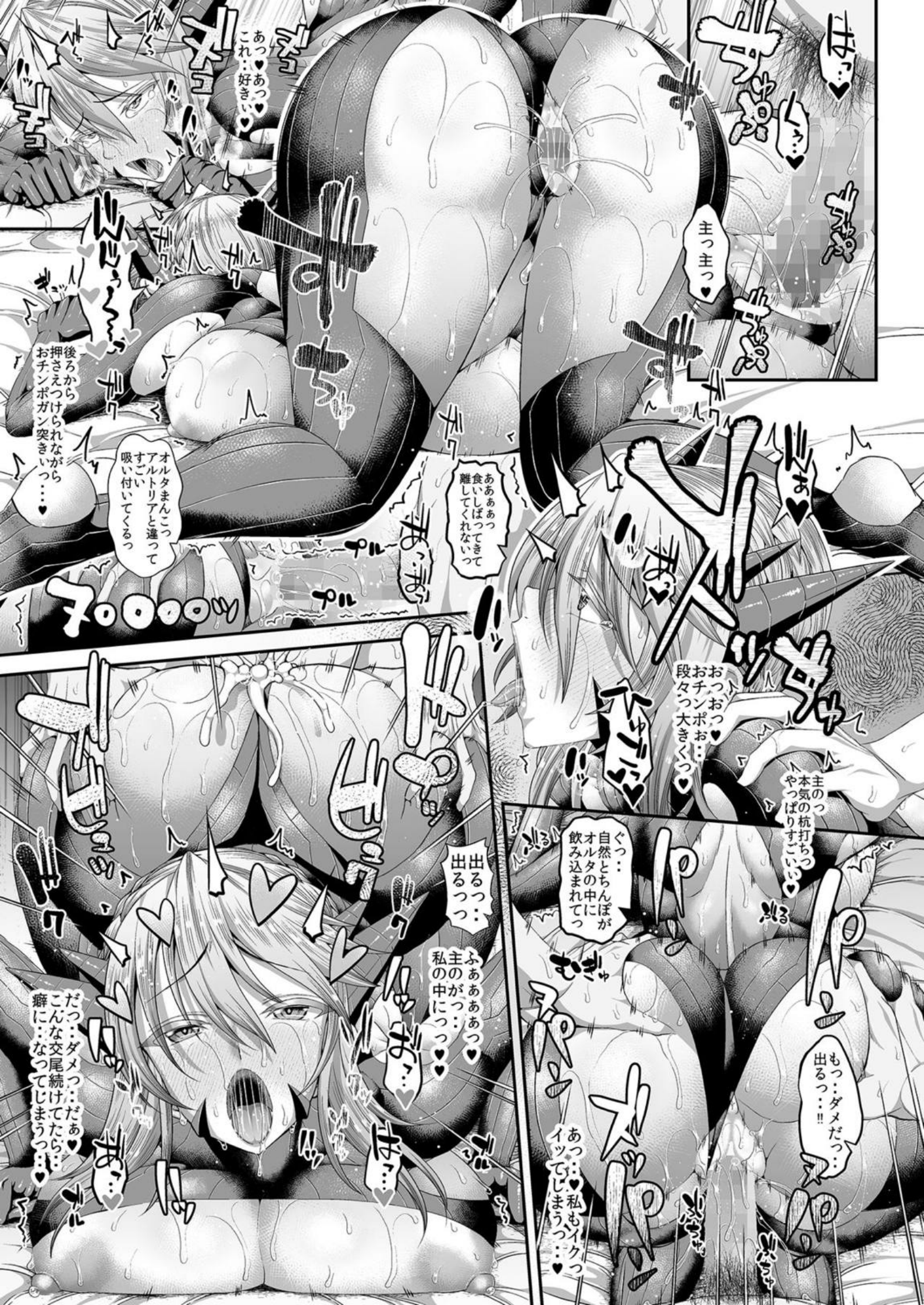
W乳上の日
今日は私の日ですね♥
たっぷり
かわいがってあげましょう
主…♥
ふふっ、マスター…
御遠慮なさらずに…♥
こんなに
顔を赤らめて…
これは私も期待に
こたえないといけませんね♥
アルトリアっ…
オルタもっ…
二人共っ
そんなに
しなくてもっ…
はぁ…♥
マスターのおちんちん
素敵です♥
こんなに立派にそそり勃って…♥
もう我慢できないのですね♥
それでは私から…♥
あっ…おい貴様っ！
抜け駆けはずるいぞっ!!

ん～～♥
ちょっ・・
待てと言って
いるだろうっ・・!!
あっ・・くっ
主のちんぽは・・
わりゃひの
ものらっ・・♥
あぁあっ
んちゅっ♥
あぐっ・・
ああぁっ
それ・・だめっ
感じすぎるっ
あぁっ・・♥
舌で擦り上げる度に
我慢汁が溢れてきてっ
うあぁぁあっ
マスターが
切なげな声を上げると
私の胸も高なってしまいますっ♥
Wアルトリアの
本気フェラ
すごいいい～～っっ

マスターのおちんぽに
私のキスマーク付けてあげますね♥
ああああっアルトリア達にちんぽ食べられちゃうっ・・
出るっ・・出ちゃっ・・あくぅっ
そんなっ・・食るように咥えなくてもっ・・
マスター
主・・・

次は私の中に・・
お願いしますっ♥
ぽ
ムッチィイィ♥
そんなっ・・
どっちかなんて・・選べないよっ・・
ほらっ・・♥どうかご遠慮なく
私の中においでください・・♥
主よ・・もう私は待ちきれませんっ・・
早くっ・・早くお願いしますっ・・♥

ああアルトリアっ…アルトリアのふわとろまんこっ
あっマスター♥
優しく包み込んできてっ射精を根本から促されてるっ
はぁ♥
んぁ♥
ギュッ
んぁあっ♥マスターが全身で感じてくれているっ♥それだけでとても満ち足りた気分になってしまいます♥
ああっ…アルトリアっもうっ…
私に構わずにっ…
マスターが出したい時にいつでもお出し下さいっ♥
出るっ出るっ
ましゅたぁ
マスター♥私もっ…共にっ…♥
うあぁぁっっ…
マスターの精液が私の中に全部注ぎ込まれてますっ♥
プシャアアアアッ
こんな幸せを何度も感じることができるなんてっ♥
マスター♥好きっ♥大好きですっ♥


主っ主っ♥
あっ♥あっ♥これ…好きぃ♥
後ろから押さえつけられながらおチンポガン突きいっ…♥
オルタまんこっアルトリアと違ってすごい吸い付いてくるっ
ああぁぁっ食いしばってきて離してくれないっ
おっおっ♥おチンポぉ…段々っ大きくっ♥
主のっ本気の杭打ちっやっぱりすごいぃ♥
もっ…ダメだっ…出るっ…!!
ぐっ…自然とちんぽがオルタの中に飲み込まれてっ
あっ…♥私もイクっイッてしまうっ…♥
出るっ…出るっっ
ふぁぁぁぁっ♥主のがっ…私の中にっっ♥
だっ…ダメっ…だぁ♥こんな交尾続けてたら…癖に…なってしまうっ…♥

そんなにしたらっ
ふふっ♥お加減はどうですか？マスター♥
まだまだ・・出し足りないのではないですか？
たっ確かにまだいつもの回数の半分も行ってませんが・・
さっきあんなに私を泣かせたというのに主はもうこんなに元気になっています・・♥
次は・・アレでいきましょう・・♥
ああっ・・そうしよう♥
・・あれ？アルトリアさん達・・何を結託して・・っ
ふふっ♥私達はマスターを満足させるためなら何時までもお相手致しますよ・・？♥
主よ・・今夜はそれ相応の覚悟をしてもらいますからね♥

2017.12.31

であすちーむ